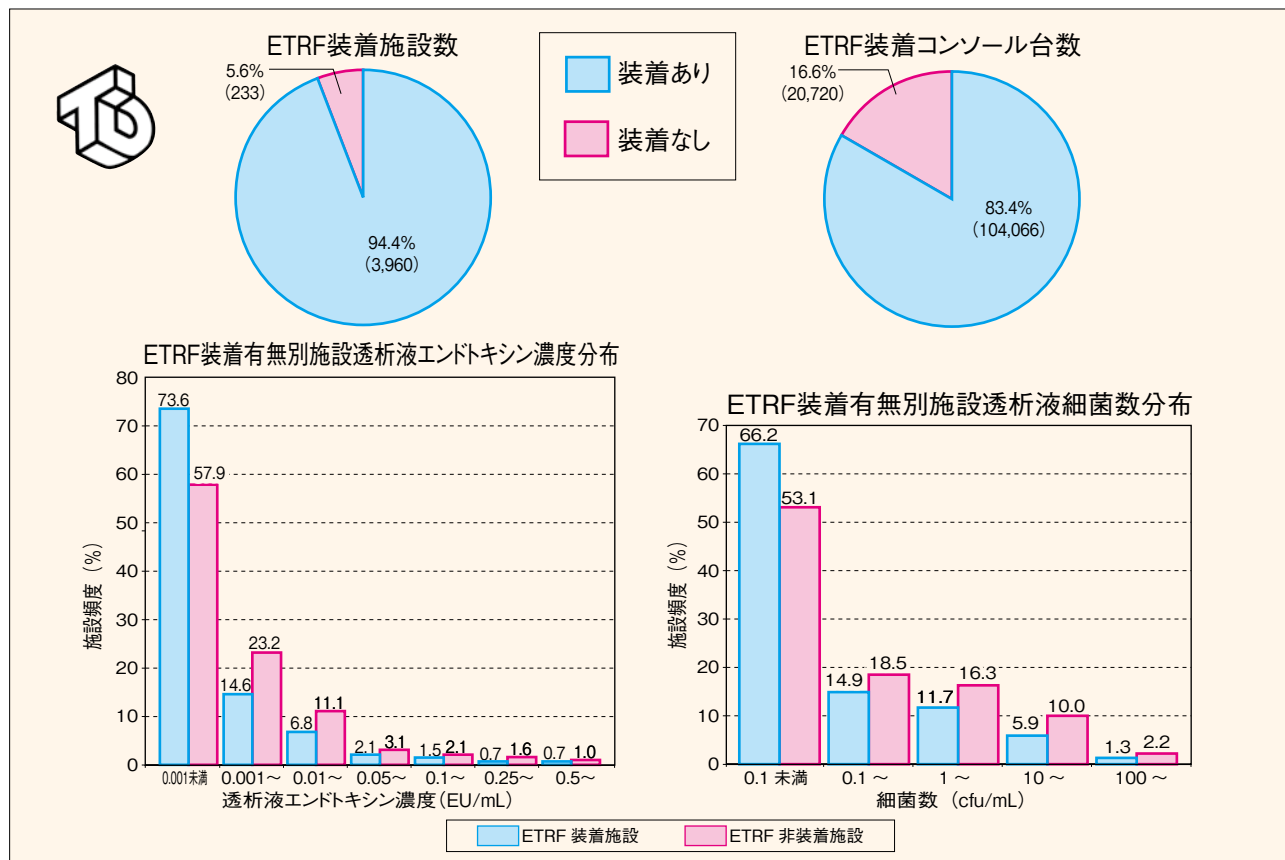


1) 透析液水質管理状況

(3) エンドトキシン捕捉フィルタ (ETRF) 装着状況 (図表26)



ETRF装着	あり	なし	合計	記載なし	総計
施設数	3,960	233	4,193	8	4,201
(%)	(94.4)	(5.6)	(100.0)		

ETRF装着	あり	なし	合計
コンソール台数	104,066	20,720	124,786
(%)	(83.4)	(16.6)	(100.0)

透析液エンドトキシン濃度 (EU/mL)	0.001未満	0.001~	0.01~	0.05~	0.1~	0.25~	0.5~	合計	不明	記載なし	総計
ETRF装着施設数 (%)	2,375 (73.6)	472 (14.6)	219 (6.8)	69 (2.1)	47 (1.5)	23 (0.7)	21 (0.7)	3,226 (100.0)	51	1	3,278
ETRF非装着施設数 (%)	392 (57.9)	157 (23.2)	75 (11.1)	21 (3.1)	14 (2.1)	11 (1.6)	7 (1.0)	677 (100.0)	85	30	792
合計 (%)	2,767 (70.9)	629 (16.1)	294 (7.5)	90 (2.3)	61 (1.6)	34 (0.9)	28 (0.7)	3,903 (100.0)	136	31	4,070
不明 (%)	19 (54.3)	10 (28.6)	4 (11.4)	1 (2.9)	1 (2.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	35 (100.0)	60	6	101
記載なし	0	0	0	0	0	0	0	0	1	29	30
総計 (%)	2,786 (70.7)	639 (16.2)	298 (7.6)	91 (2.3)	62 (1.6)	34 (0.9)	28 (0.7)	3,938 (100.0)	197	66	4,201

細菌数 (cfu/mL)	0.1未満	0.1~	1~	10~	100~	合計	不明	記載なし	総計
ETRF装着施設数 (%)	2,046 (66.2)	460 (14.9)	360 (11.7)	182 (5.9)	41 (1.3)	3,089 (100.0)	144	45	3,278
ETRF非装着施設数 (%)	336 (53.1)	117 (18.5)	103 (16.3)	63 (10.0)	14 (2.2)	633 (100.0)	113	46	792
合計 (%)	2,382 (64.0)	577 (15.5)	463 (12.4)	245 (6.6)	55 (1.5)	3,722 (100.0)	257	91	4,070
不明 (%)	13 (40.6)	9 (28.1)	8 (25.0)	2 (6.3)	0 (0.0)	32 (100.0)	62	7	101
記載なし	0	0	0	0	0	0	1	29	30
総計 (%)	2,395 (63.8)	586 (15.6)	471 (12.5)	247 (6.6)	55 (1.5)	3,754 (100.0)	320	127	4,201

施設調査による集計

解説

エンドトキシン捕捉フィルタ (ETRF) の装着について、アンケート回答全施設4,201施設のうち4,193施設 (99.8%) から回答を得た。94.4%の施設においてETRFは1台以上のベッドサイドコンソールに装着されていた。回答のあった4,193施設にある総計124,786台のベッドサイドコンソールの83.4%にETRFが装着されており、2011年末より5.5%増加していた。

ETRFを使用しても超純粋透析液の基準であるエンドトキシン0.001EU/mL未満、細菌数0.1cfu/mL未満を達成できない場合は、原水の高濃度の汚染、2次汚染、ETRFの汚染、サンプル採取のコンタミネーションなどの理由があり、透析液水質管理方法の見直しが必要である。これに該当する施設はエンドトキシンにおいては26.4%、細菌数においては33.8%であった。ETRFを使用しているも標準透析液の指標であるエンドトキシン0.050EU/mL未満、細菌数10cfu/mL未満を達成できていない施設は、それぞれ5.0%、1.3%であった。逆にETRFを使用していなくても超純粋透析液の基準を満たす施設はエンドトキシンで57.9%、細菌数で53.1%あり、透析液供給システムの上流から透析液が清浄化されていることが推察される。